

イクボス養成セミナー 開催報告

【日時】令和元年9月11日(水) 13:30-16:30

【場所】長崎大学文教キャンパス

グローバル教育・学生支援棟3階 G38 教室

【対象】長崎県内企業・団体(学内教職員含む)

【主催】ながさき女性活躍推進会議、長崎大学

【プログラム】

講演

「イクボス」が実現する社員・職員がいいききと活躍し成長する職場

講師：NPO 法人ファザーリング・ジャパン

ファウンダー/代表理事 安藤哲也 氏

【内容】

1. 講義内容

安藤哲也氏による講演『『イクボス』が実現する社員・職員がいいききと活躍し成長する職場～人生100年時代のライフワーク・マネジメント～』

初めに、イクメンが増え、社会のムードが変化してきたことについて話され、イクボスの「育」は、部下を育てる・企業組織を育てる・社会を育てる等を表し、強いては人生の質(QOL)を高めることに繋がると説明されました。女性活躍・イクメン・イクボスは3点セットであり、これらが日本社会の抱える問題に大きく影響してくることを詳しく述べられました。法律にしないと動かない日本社会に制定された働き方改革関連法案においては、労働時間の短縮だけではなく、①生産性向上(自立型社員の創出)②健康経営③多様性推進(個を活かすマネジメント)が必要であり、そこには部下全員を輝かせ、成果を出す＝イクボスの存在が重要であると述べられました。

日本社会の変化として、共働き世帯の増加、短時間労働者の増加、介護を抱えるリスク者の増加、働く人の価値観の変化(仕事と余暇の両立または余暇優先者の増加)をあげ、それでもなお、労働時間や有給休暇取得日数、男性の家事・育児参画は諸外国に比べ圧倒的に低い日本の現状を詳しく説明されました。また、それらは女性活躍が進まない原因であると強く述べられました。

男性育休取得者のメリットについて、対子ども・配偶者・夫婦関係に良い影響を及ぼすこと、また、職場にもメリットとなり、人手不足解消の一手となり、生産性の向上にも繋がるため職場にとってもメリットとなることを説明されました。

令和元年9月11日(水) 13:30~16:30
長崎大学文教キャンパス グローバル教育・学生支援棟3階G38教室
先着50名様
企業・団体等の経営者・管理職 または、その候補者の方
NPO法人ファザーリング・ジャパン ファウンダー/代表理事(イクボスプロジェクトリーダー) 安藤 哲也 氏
講演:「イクボス」が実現する、社員・職員がいいききと活躍し成長する職場
講演後に、イクボス対応事例などのワークショップを行います。
【お問合せ先】
企業団体の方: ながさき女性活躍推進会議 (事務局: 長崎県経営協会) TEL:095-822-0245
長崎大学関係者の方: 長崎大学ダイバーシティ推進センター TEL:095-819-2689
お申し込みは要項に必要事項をご記入の上FAXにて送付ください。
主催: ながさき女性活躍推進会議 共催: 長崎大学ダイバーシティ推進センター



最後に、人生 100 年時代に向けて、働き方改革はライフワーク・バランス（1 人 1 人の生き方改革）であり、今から準備を始めよう。父親が変われば、社会が変わる！イクボスが増えれば、社会が変わる！できない理由ばかり言っていないで、どうすればできるかを考えよう！と締めくくりました。

2. グループワーク

3 人 1 組で A 上司 B 部下 C 審判をロールプレイし、ライフイベントの社員をサポートする望ましい考えとふるまいについて身を持って体験し、グループで共有しました。

最後に講師からは、業種と各団体・企業の職場環境は異なるが、いま、会社が個人に何を提供できるかが問われる時代である。本日の参加した管理者の方々の今後を期待すると述べられた。



3. イクボス宣言

最後に、個人におけるイクボス宣言を行った。

本講座には、多くの皆様にお集まりいただきました（参加者 42 名：長崎大学教職員 18 名、企業等 24 名）。

参加者アンケートでは、経営戦略として「イクボス」についてどう思うかを尋ねたところ、「非常に重要」と「重要」と答えた人は 97.4%でした。その理由は「働きたいと思われる職場にしたい」、「効率性・生産性向上のため」「業務改善が進むきっかけになる」「職員を大切にすることが成果にもつながると思うから」などの意見がある一方、「人よりも働いてプライベートを犠牲にした人間が今の管理職 相当の意識改革が必要」という課題を示された。